

いよいよ師走、心せわしい月になりました。大掃除をしたり年に一度の便りを書いたり、時の流れに区切りをつけるのも悪くないですね。

お知らせ

- ・ アメニティ・アカデミー 第Ⅱ期セミナー第3回 12月8日(土) 草志舎
- ・ 新年会 2013年1月13日(日) 草志舎
- ・ 歴史的建築物研究会 1月24日(木) 大阪
- ・ アメニティ・アカデミー 第Ⅱ期セミナー第4回 2月9日(土) 草志舎

予告1

新年会

恒例の新年会をつぎのように開きます。

日時 **2013年1月13日(日) 午後6時**

場所 草志舎(阪急西宮北口駅から徒歩3分)

参加費 1,500円(飲み物、食べ物の差し入れ大歓迎!)

年のはじめににぎやかに食べたり飲んだりしゃべったりして楽しくすごしましょう。日頃すれちがいの多い会員同士が顔をあわせるいい機会です。どんどんご参加ください。

参加ご希望の方は1月10日までにご連絡ください。

ご報告1 アメニティ・アカデミー 第Ⅱ期セミナー第2回 11月10日(土) 草志舎

テノール歌手の畑儀文さんによる「童謡を創った人々」という題によるセミナーです。明治に音楽教育の一環として作られた唱歌にはじまり、現代の「歌のおねえさん」に至る唱歌・童謡の流れをすばらしい歌とともに語っていただきました。参加者のほとんどが(特にシニア世代が)知っている歌が次々と登場し、こうした「いい歌」が私たちのところと記憶に焼き付いていることを感謝しました。



予告2

<アメニティ・アカデミー>

セミナー「読み解く心を育む」開講しています

アメニティ・アカデミーの第Ⅱ期のセミナーは当協会の理事、監事の方々を講師にお招きして、「読み解く心を育む」というテーマで、第一線で活躍しておられるそれぞれのお仕事から見える文化や社会の姿について、お話しを伺います。お話のあとは講師を囲んで懇談の時間ももうけます。得がたいこの機会にぜひご参加ください。

第3回 **12月 8日(土)** 講師: 正司泰一郎(理事、元宝塚市長) 「美しいまちづくり」

第4回 **2月 9日(土)** 講師: 山田康子(監事、弁護士) 「結婚・離婚の境界から」

第5回 **3月 9日(土)** 講師: 島田恒(監事、経営学者) 「NPOが拓く社会」

受講料: 1回 会員 2,000円 一般 2,500円

会場: 草志舎 定員: 30名(定員に達し次第締切ます)

ご報告2 ヴォーリズ六甲山荘大掃除&暖炉とワインを楽しむ会 11月23日(金・祝)

小雨が降ったりやんだりの天候のなか、樋の掃除、落ち葉掃き、屋内の片付けを皆でがんばりました。特に屋外で冷たい雨にぬれながら動いてくださった皆さま、おつかれさまでした。暖炉の前での持ち寄りの料理とワインが美味しかったですね。あとは12月6日に水抜きをしていよいよ山荘は冬ごもりです。



予告の予告

歴史的建築物研究会・大阪

ヴォーリズ六甲山荘が閉鎖中の冬場に行っている歴史的建築物研究会ですが、1月は大阪市中央区を歩きます。会員の自主企画として現在行程をねってくださっています。詳細は1月号でご案内いたします。楽しみにお待ちください。

月日 2013年1月24日(木)

予告の予告

タイ交流旅行

アメニティ2000協会はタイ・チェンマイのYMCAが実施している環境農業教育プログラムに毎年20万円の支援を行っています。これはタイ北部の貧しい地域の小中学校を対象に、子供たちが自分たちの手で給食の食材をつくり、そのノウハウを将来自立に役立てようというプログラムです。その実施状況を視察し、現地の生徒、先生、保護者との交流をはかるために2月にタイを訪問します。詳しい日程は1月号でご案内します。ご参加お待ちしております。

月日 2013年2月11日(月)～15日(金) 予定



民族衣装の子供たちと (2011年)

《お薦めの本》

山下智子著 「新島八重ものがたり」

2013年、NHK大河ドラマは「八重の桜」がスタートする。ということでタイムリーなところでのご紹介をいたします。ドラマ化にあたり急に脚光を浴びたかのように数多くの「八重本」が出版されていますが、その中でも脚色過多にならず、資料を丁寧に押えながらも読みやすい一冊になっています。

私ごとではありますが、群馬県安中(新島襄の父祖の地)で育ち、新島学園(新島の精神を持って建立)、同志社女子大に学び、また夫の赴任地の会津若松市(新島八重の出生地)で九年の生活を送りと、思い返すと新島夫妻のゆかりの地で歩み続けた不思議を感じています。それだけに今回のドラマはこと他、大変楽しみにし、この本もこの11月末に出版されるやすぐに手にしました。

八重は幕末の会津藩士の娘として育ち、戊辰戦争の渦中に生き、戦後(明治維新後)は京都で大学設立に奔走する新島と出会い結婚、その活動を支えるその歩みはいつも自分らしく、自分が信じる道を歩む清々しいまでの生き方です。会津では男支度をし籠城するも、京都では当時珍しいクリスチャンとして生きる道を選ぶも、周りに合わせるよりは自らの信に突き進む八重。その生き方や言動にはまだまだ当時の男性の理解を得る事は難しく、誤解されたり、揶揄されたりします。そんな彼女の師であり何よりの理解者である夫、襄。深い夫婦愛を数々の残された言葉からも知らされるそんな一冊になっています。

会でも京都の新島襄住居を訪ねるツアーがありました。どうぞあわせてお楽しみ下さい。

(日本キリスト教団出版局)

求む!

エデュケーション・センター(仮称)企画委員の募集

2013年度から新規事業として、若者(大学生、大学院生)を対象とするボランティア活動と学習を通じて環境問題を学ぶための教育機関であります「エデュケーション・センター」の創設を計画しています。

その背景には当協会が将来に亘って事業を拡充していくためには、その担い手となる会員の確保が重要となってきます。そのためには、環境教育の場を創ることで人材育成していくことが欠かせないとの認識からです。

この組織の立ち上げからあたる企画委員を募集しています。アメニティ2000協会の、社会の次世代の担い手を育てる活動です。興味のある方はぜひご連絡ください。お待ちしております。

【コラム】

ヴォーリズ六甲山荘 今年の活動を振り返って

清水 順子

ヴォーリズ六甲山荘は11月18日(日)をもって今年の公開が終了しました。4月から7ヶ月半の公開でした。その内容は ・公開日数 71日 ・来場者数 1136名 ・スタッフ のべ191名 となっています。4月のオープンから途切れることなく来場者があり、特に秋は大勢来ていただきました。団体での訪問もふえました。スタッフとしてご参加くださった皆さま、ありがとうございます。そしてお疲れ様でした。また来年よろしく願います。

今年の活動のハイライトはワーキングホリデーでしょう。福島の学生6名をむかえて、関西の学生18名とアメニティ2000協会スタッフ29名が3泊4日のワークとホリデーを過ごしました。六甲山荘という魅力ある建物での滞在とベンガラ塗りという共同作業があればこそ、このプログラムがいっそう充実したのだと思います。

今後の課題はスタッフの確保です。公開時には受付、ガイド、喫茶、販売の仕事があります。余裕があれば掃除もしたいところです。来場者がふえてもゆとりをもって対応し、山荘の魅力をじっくり味わっていただくために、来年はもっと多くの方にスタッフとして参加いただきたいと願っています。初めての方もどうぞ気軽に、別荘で一日ずつ気分ですたつぷをしてみませんか。お待ちしております。

六甲山荘が私たちのものになって4年半。この貴重な財産にいっそう磨きをかけて未来につないでいきましょう。

◇◆◇おしゃべりアラカルト◇◆◇

アメニティー・アカデミー第2回セミナー:

「童謡をつくった人々」に参加して

加藤 純子

紅葉の始まった11月10日に草志社で開催されたセミナー講師は、アメニティー2000協会の理事で、音楽家の畑儀文先生です。

私は今年、畑先生にシューベルトの歌曲をグループで習い始めて、毎回のレッスンが豊かなものであるばかりでなく、練習の合間に先生が語られる音楽にまつわる話をいつも興味深く思っていましたので、今回のセミナーも楽しみに出かけました。

会場の草志舎では、ほりだし市の賑わいとは打って変わって、ほの暗い静かな部屋の中へ 初お目見えのクラビノーバが用意されていました。先生はまず最初に、シューベルトの「アベマリア」をご自身で伴奏をしながら歌って下さいました。広いホールで聴くのと違って、十数人でしみじみと聞き入る雰囲気はよいものでした。

本題の童謡について、「唱歌は明治の初めに生まれ、学校教育の場を中心に歌われたものに対し、童謡は唱歌

を乗り越えようとして出来たもので、日本では一流の作曲家、作詞家の思い入れによりつくられた大変優れたもので世界に誇るべきものである」ことを学びました。作曲家の山田耕筰、中田喜直、團伊玖磨、大中恩、作詞家の北原白秋、野村雨情、サトウハチロー、まどみちお、などは聞き親しんだ方々で、懐かしい曲目、「メダカの学校」「ふるさと」「かわいいかくれんぼ」「サッチャーん」「ドロップスの歌」を歌って頂いたり、また皆で合唱しているうちに和やかな時間が過ぎてゆきました。

最近は学校教育でもこれらの童謡はほとんど歌われなくなっているようで、残念に思われ、いつまでも歌いつがれることを願いながら会場を後にしました。



<神戸ワーキングホリデー2012の感想文>

「神戸ワーキングホリデーを体験して」

被災学生 (大学生)

・ 一日目

神戸に着いてまず思ったことは、「神戸は暑い!」ということでした。福島よりもはるかに日差しが強くて、遠い所に来たんだなあと思い、とてもわくわくしたのを覚えています。少し緊張していた神戸の方たちとの初対面が終わり、バディの留緒記さんもとても優しく気さくな人で良かったです。姉妹みたいだと言われてうれしかったです。人生初の宝塚はただただ感動して、とても華やかで美しい舞台に興奮しました。宝塚について留緒記さんがいろいろと教えてくれたので楽しく見ることができました。絶対にまた見に来ようと思いました。夜のバーベキューや交流会も本当に楽しかったです。みなさん面白くて優しく、お互いの話をしたりゲームをしたりした時間は心に強く残っています。一日目で、神戸に来て本当に良かったと思いました。

二日目

二日目で一番印象に残っているのはやはりべんがら塗りです。思っていたのと違って驚きましたが、貴重な体験をさせて頂けて、いい経験になりました。絵梨香さんとおしゃべりしながらの作業はとても楽しかったです。塗られてきれいになっていく壁を見ていて気持ちよかったです。

午後からの六甲山散策は、思ったよりもたくさん歩いて疲れましたが、とてもいい天気の中の緑の中を歩くのは清々しかったです。英国風の雑貨屋さんを見たり、素敵なおオルゴール館に行ったりと、六甲山でもいい思い出がたくさん出来ました。

夜は牧師さんによる弾き語りを聞かせていただいて、オリジナルの福島の歌を聞いたときには切なくなって少し泣けてしまいました。絵梨香さんのオペラもすごかったです。私は音楽が好きなので、お二人の歌にとっても感動しました。

・三日目

三日目の午前中は前日塗ったべんがらの拭き取りをしました。意外にも塗る作業より大変でした。初めてのべんがら塗りは結構疲れましたが、終わった時は達成感があり、とても楽しかったです。

この日の午後はとても忙しく盛りだくさんでした。まず温泉に行って、それから人と未来防災センターに行きました。防災センターでは阪神淡路大震災について学び、前よりは知ることができたと思います。阪神淡路大震災では建物の倒壊レベルが福島よりひどかったんだなと思いました。その後に神戸の街並みを見ながら歩いて、こんな風に立ち直ることが出来るんだと、勇気をもらいました。私も、いつか故郷の浪江町が元通りになって、また戻れる日を夢見て頑張ろうと思いました。

神戸市内散策も楽しかったです。人が多くてにぎわっていて、改めて神戸は都会だなあと感じました。町のあちこちに洋館があったのも素敵でした。

夕方には絶景が見える展望台に行き、夕焼けのなかの神戸を一望することができました。

・四日目

最後の日は、野点に呼んでいただいて、浴衣も着ました。初めての経験だったのでとても楽しかったです。あつという間に福島に帰る時間になり、本当に帰りたくないと思ってしまいました。山荘でお別れの時間になったときには泣きそうになりました。

三泊四日という短い期間でしたが、神戸で過ごした時間は生涯忘れられない思い出になりました。私はこれから先いくつになっても、高校三年の夏の神戸での日々を思い出すでしょう。それくらいこのワーキングホリデイは私の心に深く刻まれました。

山荘での生活や送迎などで私たちをサポートしてくださった方々、ヴォーリズ山荘という素敵なおところに泊らせてくださったアメニティの方々にも本当に感謝しています。たくさんの方にお世話になったことも決して忘れません。

神戸での四日間、たくさんのお話を学び、体験して、前より少しは成長できたと思います。とても楽しかったです。またいつか絶対に神戸に行きます。

本当にありがとうございました。

六甲山荘たより

11月の六甲山荘

六甲山は海拔900メートルもありますから、バスの車窓から眺める紅葉が週ごとに下へ降りてくるのが楽しめます。11月は団体があつたり撮影があつたりとにぎやかで、スタッフも大忙しでした。

ヴォーリズ六甲山荘の紅葉

六甲山荘の庭には紅葉のうつくしい木がたくさんあります。なかでもモミジは大木になって、夏場はその緑の葉がケーキや料理の皿をかざってくれました。11月になると色づきははじめあざやかな色彩で目を楽しませてくれます。

写真・岡本正美



募金のご報告～～10月に次の方々から募金をいただきました。ありがとうございました。(敬称略)

***六甲山荘ナショナル・トラスト募金**

《10月合計 24,200円 2012年度累計 204,700円》

***教育基金**

《10月合計 5,000円 2012年度累計 312,200円》

一般寄付をあわせて2012年度寄付金総額

841,325円



六甲山荘・樋の掃除



京都・新島襄旧宅